

SJクイズ ?

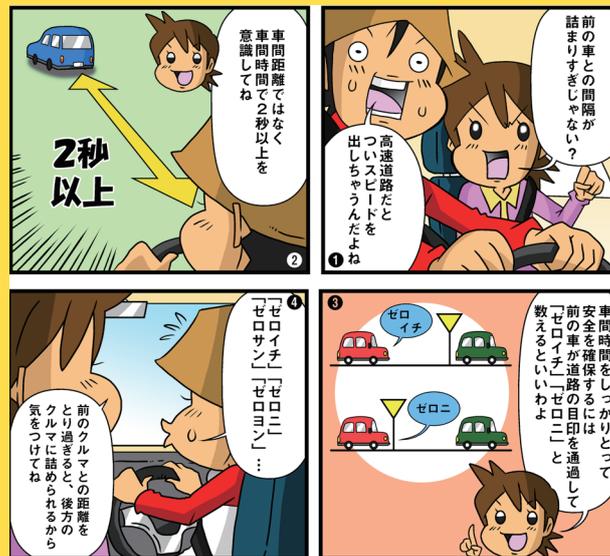
[問題編]

Q1

平成 28 年中の高速道路での交通事故死亡件数を当事者種別（第 1 当事者^{*}）にみた場合、最も多い当事者は次のうちどれでしょう？

- ①普通乗用車 ②軽自動車 ③大型貨物車

※ 第 1 当事者=交通事故の当事者のうち過失が最も重いや、又は過失が同程度の場合は被害が最も軽い者。



Q2

平成 28 年中の高速道路での交通死亡事故件数を違反別（第 1 当事者）にみた場合、最も多い違反は次のうちどれでしょう？

- ①前方不注意 ②運転操作不適 ③最高速度

Q3

平成 28 年の警察庁と JAF による調査では、高速道路において後部座席同乗者のシートベルト着用率は何%だったでしょう？

- ①約 50% ②約 70% ③約 90%

【使用上の注意】

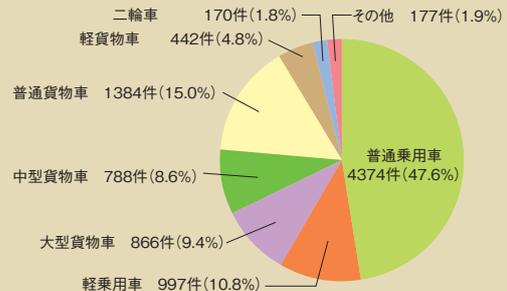
●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736

Q1 解答 ①普通乗用車

<解説>

平成28年中の高速道路における当事者種別（第1当事者）・交通事故件数をみると、普通乗用車が4374件で半数近くを占めている。普通乗用車のドライバーが安全運転を心がけることが高速道路での事故件数低減につながるといえそうだ。

●高速道路における当事者種別（第1当事者）
交通事故件数（平成28年）



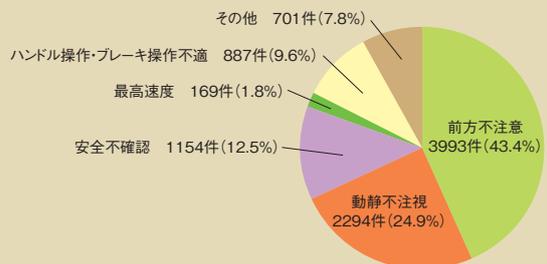
※ 出典：警察庁資料

Q2 解答 ①前方不注意

<解説>

平成28年中の高速道路での交通死亡事故件数を法令違反別（第1当事者）にみた場合、最も多い違反は前方不注意（43.4%）で、次いで動静不注意（24.9%）、安全不確認（12.5%）と続く。高速道路での死亡事故を防ぐためには「前方をよく観る」という運転の基本を常に意識しておくことが大切である。

●高速道路における法令違反別（第1当事者）
交通事故件数（平成28年）



※ 出典：警察庁資料

Q3 解答 ②約70%

<解説>

2016年10月に警察庁と JAF（（一社）日本自動車連盟）が「シートベルト着用状況全国調査*」を実施した結果、高速道路において後部座席同乗者のシートベルト着用率は71.8%であった。警察庁の資料によると、シートベルト非着用時の致死率（死傷者数に占める死者数の割合）は、着用時の場合の約14.5倍も高くなっている。これはシートベルト着用が死亡事故抑止に効果的であることを示している。自分自身や同乗者の命を守るためにも、全ての席でシートベルトを着用する必要がある。

*調査は一般自動車道全国 778 か所、高速自動車道等全国 104 か所で、「営業用プレートの車両、外部に荷台を有する貨物車（含む軽四貨物）」を除く車両に乗車している人を対象としている。

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736